

11. 【建設現場における可搬レーザーの安全性評価】

第1回委員会

1. 日時 2023年4月20日
2. 場所 パシフィコ横浜 展示ホール AM1 号室
3. 内容

○建設現場での可搬レーザー使用における懸念事項について議論を行った。施工計画、現場での安全対策（作業者および第3者への対策）、技術講習・安全衛生教育、天候基準、騒音対策の必要性が議論された。○施工計画の評価については、安全フローチャートやリスクアセスメントシートの作製に加えて、レーザー作業現場の環境評価（特に散乱光や漏れ光）手法が確立していないという意見があった。○レーザー装置の安全基準等、引用すべき情報は国際標準が存在しており、それを基準として現場に合うようガイドラインを本委員会主導で作成することとなった。

4. 参加人数 17名

第2回委員会

1. 日時 2023年7月31日
2. 場所 大阪ガーデンパレス 403号室
3. 内容

○橋の塗装剥離に関する実証実験について報告があった。レーザーで塗装を剥離した後に再塗装を行い、経過観察を行っていくとのことであった。公的報告は以下で参照可能。・淡路市実証実験報告書（インフラメンテナンス国民会議 実証実験 実施結果）○現場施工及び安全留意点について議論があり、施工現場で行っている粉塵量測定、既存塗膜分析（塗膜の含有物の調査（PCB、鉛、六価クロム）を事前に行っている）、作業環境測定（日本衛生学会許容濃度等に基づき管理濃度）等の事例紹介があった。

4. 参加人数 17名

第3回委員会

1. 日時 2023年11月9日
2. 場所 パシフィコ横浜 展示ホール 2階 E21号室
3. 内容

○リスクアセスメントについての考え方の紹介があった。安全の基本・規格としては1. 安全とは許容不可能なリスクがないこと 2. 安全とはリスクを許容できるまで抑えられた状態のこと 3. リスクはゼロにはならない（残留リスクは存在する）であり、リスクの数値化とPDCA サイクルによるリスクの低減が重要であることが議論された。合わせて、参加委員の社内で実施されたリスクシート例の紹介があった。レーザーは失明の可能性がある、死亡と同等程度なので評価点を下げることが難しいとの意見があり、工学的対策を行い評価点

を下げられるように検討する必要があるとの指摘があった。

4. 参加人数 15名

第4回委員会

1. 日時 2024年3月27日

2. 場所 株式会社マルカ 大阪本社

3. 内容

○委員に提供を依頼したリスクアセスメントシートの内容について議論を行った。装置メーカー、作業員、管理者、発注者の立場で、リスクアセスメントシート作成の趣旨等の説明が行われた。風評に関するリスクも存在しているとの指摘もあった。

○委員より、福島で（おそらく、世界で初めて）4か月連続運用しているレーザー除染装置の稼働状況についての紹介があった。

4. 参加人数 14名

（主査 藤田 雅之）